



ば は ら

波原 便り 高

県立辺土名高等学校
令和7年2月10日(月)
発行者 校長 桃原健次
第17号

ウエイトリフティング部の活躍

1月16日(木)全九州高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会(宮崎県)が行われ、2年2組上地みほ<3位>。1月26日(日)琉球新報旗争奪ウエイトリフティング選手権大会(糸満市)2年2組上地<1位>、1年1組鈴木陽登<2位>の成績でした。練習の成果がでてきていますね。今後のウエイトリフティング部の活躍が楽しみです。



認知症サポーター養成講座

1月23日(木)3年1組、1月24日(金)3年2組の家庭科(岩淵そよ先生)の授業で大宜味村地域包括支援センターと連携し、どの家庭にも、誰にでも、身近に起こりえる認知症の対応について、理解を深めるため2時間の特別授業を実施しています。生徒達も質問するなど、自分事として捉えて



ました。福祉関係従事者は不足している社会状況もあり、生徒の進学・就職、家庭生活で活かされることを期待します。

※認知症の人と接するときの心構え
(3つのない) ・驚かせない
・急がせない ・自尊心を傷つけない

★3年生へ、明日(火)から進路準備期間のため、しばらく登校はありませんが、体調を整え、安全に過ごしてください!
(登校日:2月28日金曜日)

自然環境科課題研究発表会 1月21日(火)5・6校時



自然環境科3年生の授業「理数探究」の時間に研究しまとめ、12グループが発表しました。研究テーマには「アオガエルの体色変化」「セミの幼虫の好む木」「高校周辺の魚」「ペットボトルロケット」等があり、テーマ設定の理由や研究方法、結果、考察等を簡潔に編集しプレゼンテーションソフト等を活用し発表しています。発表後には質問タイムがあり、1年生からの実験方法に対する質問も多くありました。1年生は現在の理科や野外実習等で学んだことを参考にテーマ設定する必要があることや、2年生は今回の発表を参観し、3学年で受講する「理数探究」のイメージができたのではないのでしょうか。先輩の課題を踏まえた研究を期待!!

環境教育研究指定校研究報告会



1月24日(水)「学校全体でSDGs」をテーマに、今年度は自然環境科主任の徳元先生を中心に取り組んできました。県教育委員会から班長及び指導主事3名を招いて、最終報告が行われました。特に本年は地域と連携を深めるコミュニティスクール(CS)のモデル研究にも取り組んでいるため、今回の報告会では三村長さんも参加した協議会を組織し、環境教育を含めた地域と連携した取り組みの報告も行いました。今回はまとめとして2件の研究の報告を行いましたが、さらなる学校の特色ある取り組みと、学校活性化のため、引き続き、環境教育の充実に取り組んで行く予定です。

3年生を送る会 2月7日(金)

朝から男女別・クラス対抗バレーボール競技が行われ、男子は3年1組AチームとBチームによる決勝が行われBチームが優勝。女子は2年1組と2年2組による決勝が行われ2年2組が優勝しました。競技後には舞台の部が行われました。在校生から卒業生への感謝の気持ちを込めて、全校生徒が仲良く楽しみ、3年生にとってよい高校生活の思い出となりました。1、2年生にとってもクラスの団結と絆を深める機会となりました。3年生対先生方のエキジビションマッチも行われ卒業式前の楽しい一日になりました。生徒会・運営の皆さんお疲れ様でした。

